

厚生労働大臣メッセージ

今年で 75 回目を迎える赤い羽根共同募金運動が、本日から始まります。

この運動は、国民の皆様の善意と助け合いの精神によって支えられ、寄せられた寄附金は、我が国の地域福祉の推進に大きく寄与するとともに、災害時のボランティア活動の支援にも役立てられています。

近年、我が国では、少子高齢化の進展による人口減少、家族や地域社会の変容を背景に、様々な福祉ニーズが顕在化しています。

また、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、社会的孤独や孤立、生活困窮など、地域における支援のニーズは、一層、複雑化・多様化しております。

このため、厚生労働省においては、地域住民等が支え合い、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていくことのできる「地域共生社会」の実現に向けた取組を強化してまいります。

日本の募金運動の草分けとして、寄附文化を育み、住民相互に支え合う地域づくりに貢献してきた赤い羽根共同募金運動が、今後も力強く展開されることを願っております。

本年も、多くの皆様のご支援、ご協力を心からお願いいたします。

令和3年10月1日

厚生労働大臣 田村憲久